

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道414号 静岡バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：静岡県沼津市口野 至：静岡県沼津市下香貫	延長	5.1 km		
事業概要	一般国道414号は、静岡県下田市から静岡県沼津市に至る延長約6.8kmの幹線道路であるほか、観光を中心とした伊豆地域の産業や地域の生活基盤として重要な路線である。静岡バイパスは、沼津市静岡地区の現国道414号の狭隘区間の迂回及び朝夕の慢性的な渋滞を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長5.1kmの2車線（完成4車線）道路である。				
H6年度事業化	H4年度都市計画決定	H7年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約300億円	事業進捗率	28.3%	供用済延長	0.0km
計画交通量	24,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 6.1 (残事業) 10.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 150/255億円 (事業費:147/252億円) (維持管理費:3.0/3.0億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,567/1,567億円 (走行時間短縮便益:1436/1436億円) (走行経費減少便益:103/103億円) (交通事故減少便益:28/28億円)	基準年	平成20年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる） 円滑なモビリティの確保（現道の渋滞損失時間県内上位2割区間の解消が見込まれる）他9項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	一般国道414号は沼津市南部地域はもとより伊豆地域の産業・経済・観光等において重要な役割を果たす幹線道路であることから、地元の沼津市より早期完成の要望（平成20年8月）を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	伊豆半島を中心とした地域交流は依然として活発で、当路線の交通需要は高く、現国道414号における交通渋滞は深刻である。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度末時点で用地買収は85.1%（優先整備区間・面積ベース）完了しており、今後本格的にトンネル工及び橋梁工の推進を図っていく。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	早期にかつ効率的な事業効果を発現させるため、市街地側の下香貫～大平間2.0kmについて優先整備区間とし、平成20年代中期の部分供用を図るよう事業を進めていく。				
施設の構造や工法の変更等	トンネルや橋梁の大規模構造物の設計・施工にあたり、新技術・新工法等を積極的に導入し、コスト縮減を図るよう検討していく。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。